



スーパービジョンのすすめ

理事

スーパービジョン検討特別委員会委員長 郡司 正樹

音楽療法を取り巻く環境はずいぶん変わってきました。学会認定音楽療法士が全国各地で活躍され、さまざまな分野で知られるようになりました。特に最近では福祉や教育の現場で音楽療法のニーズが高まっています。他の専門職の人たちの中には、音楽療法を勉強している方もいらっしゃいます。最近では、医療・福祉系の大学や専門学校で音楽療法を授業に取り入れるところも増えていきますので、近い将来は、音楽療法について知識をもった他職種の人が増えてくるのが予想されます。こういった状況の下で将来、常勤という立場で他職種と肩を並べ仕事ができるよう「国家資格化」も含め、日々努力することに精進しなければならないと思います。

音楽療法は音楽を使った対人援助です。音楽療法士は「人を理解するための専門性」や「人を支援するための専門性」が必要です。支援に「音楽」を用いるわけですから、音楽の諸理論や機能の知識、音楽療法の理論や技法そして現場で応用できる技術を磨き上げることが必要です。とりわけ「音楽療法の中身」が最も重要です。申すまでもなく、この中身には「人間性」も含まれてきます。

2010年春、学会の資格認定委員会から更新規則検討委員会に以下の3点について検討課題が出されました。

- 1) 資格認定申請や更新時のスーパービジョン報告内容について、さらに研鑽を積み、充実した内容になるよう会員に働きかける必要がある。
- 2) 認定音楽療法士の資格を取得した後、研修、講習会に参加する人が少ない。また、スーパービジョンについての理解を深めてもらうためのさまざまな研修会を設ける必要がある。
- 3) 新認定制度の受講者に対して課しているスーパービジョンを、だれがスーパーバイザーとして担うのか、スーパーバイザーの養成も含め早急に検討する必要がある。

上記の3点を更新規則検討委員会で話し合った結果、時間をかけて継続的に審議する必要があるという結論に達し、同年秋に理事会の承認を得て、資格更新委員会の諮問機関となる「スーパービジョン検討特別委員会」を時限付きで立ち上げました。この委員会は現在8名で構成されています。「社会から認められる音楽療法」、音楽療法士の「国家資格化」の

実現は学会の最優先課題です。この2つの実現に向けた、臨床の場や研鑽の場づくりは必修条件であり、場づくりのひとつに、相互研修も視野に入れたスーパービジョンを位置付けています。

スーパービジョンの目的や意味、スーパーバイザー（指導者）の資質について、学会としてはこれまでかなりの曖昧さがあり、具体的なガイドラインを示すには至りませんでした。そこで検討委員会としては、スーパービジョンの研修会を定期的に開催し、会員向けのガイドライン（スーパービジョンの手引書）を作成すること、また近い将来はスーパーバイザーの養成も含め、スーパーバイザーの認定制度を具体化してゆくことを当面の課題としました。2010年の学術大会（神戸大会）におけるシンポジウムを皮切りに、毎年、研修・講習委員会の全面協力でもスーパービジョンの研修会を開くことができ、各支部単位でも定期的にスーパービジョンの研修会を開いてくださり、徐々に充実した研修内容になってきています。

現在、学会は資格更新申請の実践報告に、スーパービジョンの報告も選択肢の一つとして入れ、一定の条件を満たすことでポイントが付与されますが、スーパービジョンの報告は更新申請者全体の1%にも満たない現状です。また新認定制度による必修講習会第三期より、スーパービジョンを3回以上受けることが義務付けられました。

スーパービジョンは実践に必要な知識やスキルを獲得できますし、専門家としても個人としても成長できます。自分自身の実践を客観的に見ることができるメリットもあります。スーパーバイザーは人を育てる責任はありますが、この経験は自分自身の成長の糧となります。過日、学会が実施したスーパービジョンに関するアンケート調査で、スーパービジョンを受けたい人はたくさんいらっしゃる事がわかりました。なかなか機会に恵まれなかった理由の一つとして、スーパービジョンをどういった手続きを経て、誰に受ければよいのか、まったくわからなかった方が多かったようです。こういった悩みの解決に向け、委員会では「スーパービジョンの手引書」作成に現在取り組んでいます。この手引き書は、これからスーパービジョンを受ける初心者や資格取得5年未満で臨床経験が浅い人、また、スーパーバイザーとして指導の立場に立つ人など、どなたにでもお役に立つ内容をめざし、メンバーが執筆をすすめています。本来なら、昨年秋に完成の予定でしたが、諸般の事情で大幅に遅れ、皆様大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。もう少しお待ちください。

第15回日本音楽療法学会学術大会（札幌）へのいざない

大会長 久村 正也

北国にもようやく春めいたそよ風が舞い、行きかう人びとの装いも軽やかな季節になりました。

会員の皆様には、お元気でご活躍のことと拝察申し上げます。

ご高承のように、第15回学術大会（札幌大会）が5ヵ月後に迫りました。すでに、第1次案内、第2次案内で札幌大会の大まかな内容をお知らせ申し上げており、4月にお届けした第3次（最終）案内で詳細をご理解いただけたものと思いますが、貴重な紙面をお借りして、札幌大会の聞きどころ、見どころ、お勧めどころを紹介させていただきます。

札幌大会のテーマは「音楽療法士のアイデンティティ～その専門性と一般性～」とさせていただきます。専門職としての自己同一性の確立が、これからの音楽療法士に不可欠の課題であろうと考えるからであります。

市民講座を兼ねた基調講演は、日野原重明理事長が音楽療法士に不可欠な“感性”について、ご自身の経験を通して語られます。皆様にとって誠に興味深いお話になるものと期待されます。

また、大会テーマに沿った特別講演を、九州大学久保千春総長およびアンゲリア・ラスキン大学ヘレン・オーデル・ミラー教授のお二方からいただきます。音楽療法士としてのアイデンティティの整理、理解そして今後の実践にお役に立つことと存じます。大会テーマを取扱ったシンポジウムも開催されます。

教育講演のスチュアート・ウッド先生は、音楽コミュニティへの具体的なノウハウをお話されます。

大会長講演では、これまでの学会誌原著論文の総てを検討し、本邦の音楽療法の動向と今後の方向性について述べさせていただきます。

学術大会前日の講習会は5コース、20講座を用意いたしま

した。最新の諸知識を国内外の著名な研究者から直接ご教授いただけるまたとない機会であります。受講者の皆様にご満足いただけるものと確信しております。カーリン・シューマッハー教授によるナイトレクチャーも企画いたしました。

大会を盛り上げてくださる会員の皆様からの演題募集は4月13日～5月15日です。事例発表、研究発表、自主シンポジウム、特別プロジェクト研究報告等に加えて、今回は英語発表セクションを設けました。2017年の世界音楽療法学会日本開催を視野に入れた初めての企画であります。

言うまでもなく、大会の主役は会員皆様であり、学術の質の良否も皆様的手中にあります。多くの演題申し込みを心からお待ち申し上げます。

学びで疲れた気持ちやからだを解きほぐすための、コンサートも用意いたしました。

会員の絆を深め、親睦を図り、情報を交換する交流会は、場所を変えて、北海道の極め付きの名物料理“ジンギスカンなべ”をお楽しみいただく予定です。楽しい北海道の一夜をご堪能いただけますと幸いです。

9月は北海道のベストシーズン。空は高く澄みわたり、初秋の微風は肌に心地よく、その中を、私ども北海道支部会員をはじめ、道庁赤レンガ、雄大な大倉山シャンツェ、クラーク博士、札幌農学校時計台、札幌ラーメンなど当地の立役者が勢ぞろいして皆様をお迎えいたします。

最後になりましたが、札幌大会は支部会員、大会役員、本部事務局、関係大学学生諸氏、多くの団体・企業の方々のご支援、ご協力の元に準備が進められております。紙面をお借りして心より感謝申し上げます次第であります。

（開催：2015年9月11日～13日、於札幌市）

■ 音楽療法推進特別委員会からのご報告 ■

音楽療法推進特別委員会
委員長 藤本 禮子

音楽療法推進特別委員会（以下 MT 推進特委）は、音楽療法士養成認定校・学会員数の減少等に対する対策を検討し実行することを目的として、2014年1月に結成されました。

当委員会の活動につきましては学会ニュース2014年度秋号で簡単にご報告いたしましたが、今回、もう少し具体的に報告させていただきます。

委員会構成メンバーは、資格関連委員会（認定規則検討委員会、更新規則検討委員会、受験資格基準検討委員会、（補）試験問題検討委員会）から委員長1名ずつ計4名と学会認定校教員3名、及び地域行政に詳しい評議員1名、合計8名で構成されています。検討は当委員会が中心に行いながら、学会本部の複数の委員会のご協力をいただき進めています。

現在検討・実施している案件を「音楽療法の普及・音楽療法士の増加を目的とした案件」と「音楽療法士の質の向上を目的とした案件」に分けて報告いたします。（（ ）内は担当委員会名。）

1. 音楽療法の普及・音楽療法士の増加を目的とした案件

1) 広報の充実

① HP の充実（当委員会及び広報委員会）

現在の HP は主として学会員を対象とした内容になっています。新たに学会員以外の方々を対象とし、音楽療法に関する内容などのページを開設する方向で検討中。

②音楽療法士の紹介漫画の作成（当委員会）

4月以降には、認定校、学会役員などへの配布が予定されています。また HP にアップしますので、どなたでもダウンロードすることができます。

③音楽療法紹介パンフレットの作成（渉外委員会・当委員会）。秋頃までに作成予定。

④音楽療法講演会の開催（当委員会）。具体案を検討中です。

2) 資格認定基準の検討

①保育科などでの音楽療法士資格取得の可能性（カリキュラム検討委員会）

②養成協議会2種免許取得者の学会一般コース受講の可能性（カリキュラム検討委員会）

①②とも前向きに検討中です。

3) 文科省が認める通信制による、音楽療法士資格取得の可能性（担当：当委員会）

2. 音楽療法士の質の向上を目的とした案件

1) 認定音楽療法士（補）、資格更新前の認定音楽療法士への支援

①学術大会に若手音楽療法士が活躍・交流できる場の企画・実施（当委員会）。

第14回日本音楽療法学会学術大会にてシンポジウム開催、今後について検討中。

②ラーニングサポートセンター（LSC）の実施（当委員会）

学会認定音楽療法士（補）資格取得者・資格更新前認定音楽療法士を対象として、関東・近畿・中国各支部において2年間を目途として実験的に実施する。

関東支部では、第1回 LSC 講習会を2014年12月14日に関東支部事務局（群馬県）で開催いたしました。今後は会場を東京に移し、5月、8月、12月、2月の開催が予定されています。内容はワークショップとピアスーパージョンで、少人数を対象として行われます。

近畿支部では、参加者を固定した3回シリーズの講習会が2回計画されています。第1回目は、6・7・8月（土曜コース）、第2回目は、10・11・12月（日曜コース）、内容は「事例の書き方」「事例発表」です。中国支部は、秋頃から開始が予定されています。

2016年度末には LSC の全国展開に向けて、3支部での2年間の実施結果をまとめ検討を行うこととしています。

以上、音楽療法推進特別委員会の現在までの活動を報告いたしました。今後も様々な方向から検討を重ねてまいります。今後の活動状況につきまして HP などでお知らせいたします。会員の皆様のご協力とご意見をお待ちしております。

■ 世界音楽療法連盟 第15回世界大会について ■

第15回世界大会実行委員会
副実行委員長 今村 ゆかり

学会ニュース第28号でお知らせいたしましたように、2017年7月に世界音楽療法連盟第15回世界大会を茨城県つくば市つくば国際会議場（エポカルつくば）にて開催いたします。2017年の学術大会は関東支部が担当することになっておりましたため、第17回日本音楽療法学会学術大会に代わるこの世界大会は、関東支部が中心となって運営することとなりました。昨年末に実行委員会を立ち上げ、現在、精力的に準備を進めています。

世界大会で私たちは、日本に居ながらにして音楽療法の国際的動向に触れ、海外で活躍している音楽療法士達と交流を深めることができます。また、世界規模で関心が増しているヘルスケアに関連するテーマ（たとえば認知症の対象者の増加、地域での音楽療法の展開、自然災害・戦争などの苛酷な体験をした人との実践など）についての情報や問題意識を共有することもできます。様々な臨床実践の報告や研究成果の発表などから多くの刺激を受け触発される、有意義な時間を過ごすことができるでしょう。

世界大会の開催は、海外の情報を取り入れるだけではなく、日本の音楽療法の実情を紹介し、独自の実践形態・音楽的感性・価値観・研究成果などを発信するまたとないチャンスでもあります。発信をする場は、研究発表（口頭発表、ポスター発表）だけではありません。ワークショップやラウンドテーブル（テーマについてのオープンな話し合いの場）等はすべて公募されますし、複数の発表形態にエントリーすることもできます。参加者一人一人が主体的に関わり、創っていく大会であると言えるでしょう。

発表に向けての応募要項は年内に公表され、来年前半には応募受付が始まります。日本で行われる世界大会ならではの、通訳・翻訳などのサポート体制も充実させていくことを検討しています。また英語での発表に触れ慣れていただくために、9月の札幌大会では、世界大会での発表経験者に口頭発表を再現し、英語での発表準備のポイントをお話しいたします。さらに来年の仙台大会では予行演習として、英語での発表演題を企画いたします。

準備の進捗状況や世界大会に関するお知らせは、下記の世界大会専用ホームページをご覧ください。夏の「青海波」をイメージした大会ロゴと、のびやかな「若竹色」の大会カラーで、皆様のアクセスをお待ちしています。

第15回世界大会専用 HP アドレス：<http://www.wcmt2017.com>

■ 日本音楽療法学会 第15回音楽療法士(補)資格審査(筆記試験)実施要項(抜粋) ■

次の要領で2015年度音楽療法士(補)資格試験(筆記審査)を実施します。この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適性を確かめる目的で行われます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)の資格を得ることができます。音楽療法士(補)資格取得者は、認定規則(面接試験)に沿って学会に申請すれば、面接試験(弾き歌いと口頭試問)を経て正規の音楽療法士として認定されることとなります。

1. 試験の日時および会場：2016年1月17日 日本教育会館
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン11に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの履修生(卒業見込み者・既卒者)および新認定制度における必修講習会受講修了生
4. 受験手続：認定校の既卒者・卒業見込み者
各認定校に送られる試験実施要項に沿って申込期間に申請してください。
必修講習会受講修了者
音楽療法士認定規則(新版)に沿って申込期間に申請してください。
5. 試験はマークシートによる多岐選択形式100問と、提示するテーマに沿った論述
受験票、筆記用具(HB鉛筆数本と消しゴム)および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間：2015年11月16日(月)～11月30日(月)までに学会事務局へ必着
8. 合格者の発表：2016年1月下旬(審査結果は受験者本人に文書にて通知)
9. 合格者のうち、認定校履修生で卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。(既卒者は不要)。送付してきた者について当学会音楽療法士(補)の資格証明書を発行します。(既卒者には合格発表と同時に発行します。)この証明書は学会認定音楽療法士の面接試験を申請する際に必要となります。



■ 2014年度資格試験受験認定校一覧 ■

都道府県名	学校名	都道府県名	学校名	都道府県名	学校名
茨城県	茨城音楽専門学校	千葉県	聖徳大学	長野県	長野医療衛生専門学校
長崎県	活水女子大学	大阪府	相愛大学	愛知県	名古屋音楽大学
愛知県	金城学院大学	神奈川県	東海大学	愛知県	名古屋芸術大学
東京都	国立音楽大学	埼玉県	国際音楽療法専門学校	東京都	日本大学芸術学部
岡山県	くらしき作陽大学	東京都	東京心理音楽療法福祉専門学校	熊本県	平成音楽大学
北海道	札幌大谷大学	京都府	同志社女子大学	宮崎県	宮崎学園短期大学
神奈川県	昭和音楽大学	埼玉県	東邦音楽大学	兵庫県	武庫川女子大学

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】 〒065-8567 北海道札幌市東区北16条東9丁目1-1 札幌大谷大学関谷研究室
TEL: 011-742-1796 FAX: 011-742-1718 E-mail: jmt.hokkaido@gmail.com

2015年度総会および第27回研修会

開催日時: 2015年5月10日(日) 10:00~16:30

開催場所: 札幌大谷大学 響流ホール

内 容: 「認知症予防・治療法としての音楽療法への期待」

朝田 隆氏(筑波大学教授 同大学付属病院精神神経科グループ長)

・「合奏を取り入れた初期~中期認知症音楽活動」

~認知力アップと生き甲斐を育む表現活動を目指して~

折山 もと子氏(合奏システム研究所)

・その他一般演題発表

問合せ先: 上記事務局

§ 東北支部

【事務局】 〒982-0841 宮城県仙台市太白区向山4丁目21-5 須佐方
FAX: 022-264-4872 E-mail: jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

第15回東北支部学術大会および総会

開催日時: 2015年7月25日(土)~26日(日)

開催場所: 弘前市立観光館(青森県弘前市)

大会長: 櫻庭由美

大会テーマ: 「音楽からの気づき~人として、今在り方を考える~」

内 容: 基調講演、教育講演、講習会Ⅱ

二俣 泉氏(東邦音楽大学准教授)

「音楽療法士とはどんな存在なのか」

「美的体験と音楽療法」

ワークショップ「ピア・スーパービジョン」

講習会Ⅰ 増田貴人氏(弘前大学准教授)

「動きの不器用な子どもの支援—発達障害の視点から」

総会、研究発表、交流会

問合せ先: 上記事務局

§ 関東支部

【事務局】 〒373-0806 群馬県太田市龍舞町2210-1 ドレミサポートハウス内
TEL: 0276-55-6344 FAX: 0276-55-5022 E-mail: mtkanto@jmta-kanto.jp
支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>

第14回関東支部講習会・地方大会(山梨)のご案内

開催日時: 2016年1月30日(土)~1月31日(日)

会 場: 山梨県立図書館 甲府市北口2丁目8番1号

大会長: 山本久美子

大会テーマ: 星と音楽とわたしと ~奇蹟の地球(ほし)でつながっている~

問合せ先: 上記実行委員会 詳細は支部ホームページをご覧ください

研修講習会「臨床から事例発表へ」のご案内

開催日時: 第3回2015年6月21日(日) 第4回2015年11月8日(日)

会 場：日本福祉教育専門学校高田校舎
内 容：午前中 講演会 午後 事例発表2題
問合せ先：詳細は支部ホームページをご覧ください。

研修会「日本音楽療法学会ラーニングサポートセンター（LSC）関東支部講習会」のご案内

開催日時：第2回2015年5月31日（日） 第3回2015年8月23日（日）
第4回2015年12月13日（日） 第5回2016年2月21日（日）

会 場：日本福祉教育専門学校高田校舎
内 容：ワークショップ、ピア・スーパービジョン
本研修は本部委託研修となります。
問合せ先：詳細は支部ホームページをご覧ください。

関東支部では、支部講習会・地方大会に加え、支部各都県にて開催する都県別講習会を実施しております。関東支部会員が所属する各都県で年1回開催されます。会員が所属する身近な地域で研修が受講できるうえ、各都県の会員同士の連携にもつながるものと期待されます。他支部会員の参加が可能な講習会もありますので、詳細は支部ホームページ等で随時ご案内いたします。

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒940-0033 新潟県長岡市今朝白1-17-25
TEL & FAX：0258-34-8338 E-mail：mtoofficeheisei27@gmail.com

1. 新役員（任期：2015年4月～2018年3月）
支部長：宮本啓子、副支部長：前田登志枝、事務局長：丸山敬子、教育委員長：西巻靖和
2. 第13回信越・北陸支部学術大会および総会
開催日時：2015年6月27日（土）9：30～18：00
開催場所：ホテルメトロポリタン長野（長野市南石堂町1346）
大会長：西巻靖和、事務局長：前田登志枝
大会テーマ：「次世代の音楽療法士へのメッセージ」
内 容：講習会、総会、公開講座（講師：南慧昭氏）、講演（講師：加藤美知子氏）など
問合せ先／大会事務局：
〒384-0803 小諸市丙842-1 TEL：090-1033-3590 西巻靖和
〒387-0021 千曲市稲荷山582-6 TEL：090-4153-2213 FAX：026-272-3983 前田登志枝

§ 東海支部

【事務局】〒503-8554 岐阜県大垣市西之川町1-109 大垣女子短期大学音楽総合科 小西研究室
E-mail：jmta-tokai@jmta-tokai.sakura.ne.jp
支部ホームページ <http://www.jmta-tokai.net/>

支部大会、総会、講習会
2016年3月 静岡県内（場所未定）

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
FAX：072-763-0305 E-mail：jmtak@guitar.ocn.ne.jp
支部ホームページ <http://www.jmtak.com/>

第14回近畿学術大会・講習会・近畿支部総会について
開催日：2016年3月19日（土）～20日（日）
開催場所：大阪成蹊大学（阪急京都線相川駅から200メートル、大阪・梅田駅から大学正門まで17分）
詳細が決まり次第、近畿支部ホームページに掲載いたします。

§ 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1
広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX: 082-814-3161 E-mail: jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp
支部ホームページ <http://jmta-cc.org>

第15回支部大会・第22回講習会

開催日時: 2015年6月27日(土)・28日(日)

開催場所: 松江テルサ (島根県松江市 JR松江駅前)

内 容: 27日講習会 講師 林 明人氏・肥後 功一氏・頼島 敬氏
28日支部大会 総会 講演講師 岩永 誠氏

問合せ先: 中国支部ホームページから

他支部会員の参加も受け付けております。皆様ご参加ください。

§ 四国支部

【事務局】〒762-0082 香川県丸亀市飯山町川原1847-4 三崎めぐみ気付
TEL & FAX: 0877-98-7696
E-mail: gaber29@mb.pikara.ne.jp ※メール(添付)での連絡希望

第11回四国支部大会(2016.1.11、徳島)予定

大会名: 第11回四国支部大会(徳島)

期 日: 平成28年(2016年)1月11日(月、祭日)10:00~16:00予定

場 所: あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

内 容: 教育講演および一般演題募集

- 1) 原寛先生(原土井病院理事長、「新老人の会」福岡支部世話人代表・九州連合会長)
演題名「人々に広く健康を」(予定)
- 2) 生野里花先生(東海大学非常勤講師、野花ひととおながく研究舎)
演題名「人 とともにある音楽~音楽療法ができること~」

今回は徳島における大会であり、魅力溢れる講演2つを行います。従来と同様に、広く演題を募集します。大会の詳細については、10月上旬までには四国支部HPに掲載します。問い合わせ・申込みなどについては、それ以降に、pianomed@bronze.ocn.ne.jp(担当・板東)までお願いします。

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL: 093-691-3344 FAX: 093-603-7213

・支部講習会(認定者対象)

日 時: 2015年6月21日(日)

会 場: アクロス福岡(福岡市)

講 師: 白石潔先生「集団精神療法体験」

・支部講習会

日 時: 2015年7月19日(日)

会 場: アクロス福岡(福岡市)

講 師: 市江雅芳先生「生体エネルギーについて」

・支部大会・総会

日 時: 2016年1月(未定)

会 場: アクロス福岡(予定)

日本音楽療法学会認定音楽療法士 第四期資格取得必修講習会 スケジュール (予定)

2015年4月現在

年	月	日	曜	場 所	音楽療法概論	音楽療法各論					事例の書き方・研究	音楽療法技法 A (音楽系)	音楽療法技法 B (非音楽系)	コマ数計	
						障がい児・者	高齢者	リハビリ	精神科領域	緩和ケア・その他					
2016	6	5	日	東京								理論試験 実技試験			
	7	24	日	東京	① 1~4									4	
	10	22	土	東京	② 5~8	③ 1~4									8
23		日													
2017	1	21	土	東京	④ 9~12	⑤ 5	⑥ 1~4							9	
		22	日												
	4	22	土	東京						⑦ 1~4	⑧ 1~5			9	
		23	日												
	7	22	土	東京									⑩ 1~3	⑪ 1~4	8
		23	日		⑨ 5										
10	21	木	東京								⑫ 5~8	⑬ 6~10		9	
	22	金													
2018	1	20	土	東京					⑭ 1~4			⑮ 11~15		9	
		21	日												
	4	21	土	東京							⑯ 9~12		⑰ 5~8	8	
		22	日												
7	21	土	東京				⑱ 1~2	⑲ 5		⑳ 13~16	㉑ 16			8	
	22	日													
10	20	土	東京								㉒ 17~20	㉓ 9~12		8	
	21	日													
2019	1	20	日	東京	音楽療法士(補)試験 [東京]										
	3	2	土	東京	予 備 日										
		3	日												
		16	土	東京	認定面接試験										
		17	日												
コマ数計					12	5	5	2	5	3	16	20	12	80	

*2016年度にスタートする第四期資格取得必修講習会のスケジュールをお知らせします。受講される方はご準備ください。詳細は次号のニュースに掲載します。

*日程は変更になる場合があります。

*講習会の場所・東京=東邦音楽大学(埼玉県川越市)

学会事務局からのお知らせ

■ 第16回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

- 日 時：2016年9月16日・17日・18日
 - 会 場：仙台国際センター
 - 大会長：高山 仁、実行委員長：須佐 涼子、事務局長：渡邊 恵里
 - 大会テーマ：未定
- ※大会案内は順次お知らせします。

■ 2015年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日時：2016年2月20日（土）・21日（日）
 - 会場：日本教育会館（東京都千代田区）
- ※詳細は次号でお知らせします。

■ 2015年度資格審査のお知らせ

- 日 時：2016年3月12日（土）、13日（日）
- 会 場：東邦音楽大学川越キャンパス
- 受験申請受付：2016年1月29日～2月12日（最終日必着）
- 書類審査結果：2016年2月下旬頃通知 ※合格者には実技を含む面接試験の案内が同封されます
- 最終審査結果：2016年3月末日
- 2015年度に認定申請ができるのは、次のいずれかに該当する方に限定されます。
 1. 音楽療法士（補）の資格（合格年度に関わらず）を有する方
 2. 日本国外の音楽療法士資格を有し、日本において主セラピストとして1年以上の音楽療法の臨床経験がある方
 3. 日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を失効し、再度同資格の取得を希望する方
- 「日本音楽療法学会音楽療法士認定規則（面接試験）」を取り寄せて申請してください。取り寄せ方法については、21ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。
- 実技試験での使用楽器は、会場に設置してあるグランドピアノ、または受験者が持参したギターに限定されます。課題曲は次号でお知らせします。

■ 2015年度資格更新審査のお知らせ

- 対象者：第5回、第10回、第15回の認定者
- 申請受付期間：2015年10月14日～10月30日（最終日必着）
- 最終審査結果：2016年2月初旬頃通知 ※猶子を申請される方も受付期間に申請してください
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りします申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は21ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧の上お取り寄せください。

※資格審査、更新審査時に提出される証明書類は現物とコピーの両方となっておりますのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた指定の大きさの封筒を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、簡易書留郵便にて返却しますので通常料金に310円加算して切手を貼付してください。

■ 映画「パーソナルソング」DVD 頒布のお知らせ

先般公開され話題となりました音楽療法関連の表記映画のDVDが発売となりました。学会割引価格で頒布しますので、購入希望の方は21ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧の上お取り寄せください。

頒布価格1枚3,000円（税込、送料込）（参考売価4,104円、税込）

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択いただき、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2015年度新年度が始まりました。年会費は別便でお送りする専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口
払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会
口座番号：00120-9-657711

■ 第14回認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について

2011年に発表された「カリキュラムガイドライン'11」適用の音楽療法コース既卒者、卒業見込み者および新認定制度における必修講習会の受講者を対象に、2015年1月18日に第14回（補）認定試験を実施しました。2015年7月頃、この試験問題の解答と解説集が発行されます。第14回（補）認定試験受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外で購入を希望される方は21ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。

■ カリキュラムガイドライン'11の取り寄せについて

会員の方は「カリキュラムガイドライン'11請求」として事務局へお申し込みください。会員外の方は、120円切手を貼付した返信用封筒（B5サイズ、宛名明記）を同封の上お申し込みください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は21ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は21ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。（一般の方に視聴していただくのに最適です。）

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバーの購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料のお取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書一般コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

	資 料	金額（送料込）
認定音楽療法士（補）問題解説集	2001～2014年度単年度版 ※希望年度を明記してください	各1,000円
	2001～2005年度、2006～2010年度 5カ年分合冊版 ※希望年度を明記してください	各2,000円
規則書	一般コース	500円
	面接試験	500円
	資格更新／資格更新規則細則	500円
その他	抄録の書き方	1,000円
	DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性	1,000円
	DVD「パーソナルソング」	3,000円

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員の場合は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった会員の方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時と同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名もあわせて明記してください。

※その他事務局への各種お届け方法の詳細については日本音楽療法学会ホームページをご覧ください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

● 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書など

手数料：500円

● 音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真および、現在お持ちの登録証明書および賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ変更の場合も、登録証明書・賞状ともに変更の場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、依頼される際にお名前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ お詫びと訂正

つぎの誤りがありましたので、謹んで訂正をさせていただきます。

* 2011年度版音楽療法士（補）試験問題解説集 33ページ118問の問題

誤：呼吸運動の中の「呼気」の場面で生じる各部の説明である。

正：呼吸運動の中の「吸気」の場面で生じる各部の説明である。

* 音楽療法士（補）問題解説集Ⅱ（2006～2010年度合冊版）83ページ 133問の問題と解答

誤：次の記述で、最も適切なものを選び。 正解：c

正：次の記述で、最も不適切なものを選び。 正解：a